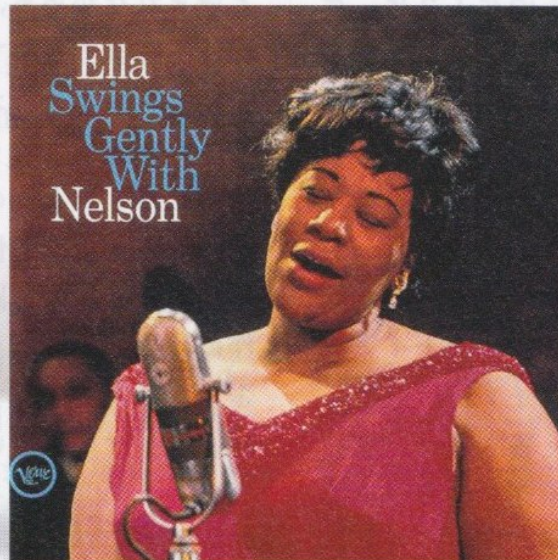


Body and Soul

Ella Fitzgerald



作曲：Johnny Green 作詞：Edward Heyman/Robert Sour/Frank Eyton

この曲が作られたのは1930年。以来多くのミュージシャンに演奏され、歌われてきた名曲です。Ellaの名唱に加え、Sarah VaughanやTony Bennettの歌唱も素晴らしい。Tony BennettはAmy Winehouseとのデュエット・アルバムでもこの曲を歌っています。

私がこの曲を初めてライブで聴いたのは40年ほど前のことです。場所は六本木。ジャズ・ファンにとって憧れのジャズ・クラブ“BODY & SOUL”。歌ったのはジャズ・シンガーのチャリート。こんなにうまい歌手がいるのかと驚きました。帰り際、黒い服の美女に目を奪われました。それがこの業界で知らない人はいない、オーナーの関京子さんとの最初の出会いでした。店が青山・骨董通りの裏手に落ち着いてからは足繁く通いました。NHKの合間に最後のセットを聴きに行き、ジャズのエネルギーをもらってNHKに戻る、そんな日々を繰り返していたある年のクリスマスイブ、案内されたテーブルは外国人の男性と相席でした。彼の名はWalter。知的で物静かな英国人の化学者。意気投合し、メールアドレスを交換して別れました。数か月後、私たちはロンドンで再会し祝杯を上げていました。BODY & SOULが用意してくれた友情の始まりです。

Withコロナの状況ではありますが、生演奏はジャズの醍醐味のひとつです。現在は渋谷の公園通りに移転し、さらに洗練されたジャズ・クラブ兼カフェとして再出発したBODY & SOULに心から声援を送りたいと思います。



こちらから
お聴き下さい。